

南アジアの織物が 変えた人々の暮らし

インドやバングラデシュなど南アジアでは、古来、綿や絹など多様な繊維を使った織物の生産が盛んであった。織物は、南アジアの人々の暮らしを支え、豊かな服飾・装飾文化を育み、さらに世界各地に輸出された。南アジア産織物は、輸出先においても人々の暮らしや文化・芸術の発展に資したのみならず、その国産化を刺激して産業の発展を促すこともあった。本講座では、歴史学、経済学、文化人類学、地域研究の分野から専門家をお招きし、14世紀から現在までを対象に、南アジア産織物の生産・流通（貿易）・消費およびその影響を通じて、南アジアと世界諸地域との関係史を紐解きたい。

開催方法：対面 / WEB
慶應義塾大学三田キャンパス
北館ホール / 東館G-lab

開催日：2025年10月3日から12月19日
毎週金曜日17:00-18:30
全10回（10/17、11/21を除く）

- | | |
|---|---|
| <p>1 10月3日：北館ホール
神田 さやこ（慶應義塾大学）
インド綿布の生産・流通・消費からみる
アジアの近世・近代</p> | <p>6 11月14日：WEBのみ
杉浦 未樹（法政大学）
17～20世紀のオランダと
南アジア織物との関わり</p> |
| <p>2 10月10日：北館ホール
ラディカ・セション（Radhika Seshan）
（プネー大学元教授）
織る人々：インドの織工・織物・交易（14-18世紀）</p> | <p>7 11月28日：北館ホール
太田 淳（慶應義塾大学）
インドネシアにもたらされた
インド布</p> |
| <p>3 10月24日：北館ホール
鎌田 由美子（慶應義塾大学）
世界を巡った
インドの絨毯とテキスタイル</p> | <p>8 12月5日：北館ホール
川中 薫（国際ファッション専門職大学）
インド・ファッションの世界：
多様な素材、知識、技と人々が育む世界観</p> |
| <p>4 10月31日：北館ホール
五十嵐 理奈（福岡アジア美術館）
バングラデシュ文化を継承する
刺繍布カンタ</p> | <p>9 12月12日：北館ホール
日野 真紀子（近畿大学）
シルク・レーヨン製品をめぐる
イタリアとインドの歴史</p> |
| <p>5 11月7日：北館ホール
正木 響（金沢大学）
フランス植民地帝国と
インド産藍染綿布ギネ</p> | <p>10 12月19日：G-lab
橋野 知子（神戸大学）
日本とインドの伝統的な織物業はどこ
が違うのか？－着物とサリーの生産組織の比較</p> |

